

【施設状況】

グループ名称	川中島町公民館、分館(川中島、中津、御厨)								
指定管理者名	川中島地区住民自治協議会					法人番号	3700150073961		
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課	副					
構成施設	3328	川中島町公民館							
	3326	川中島町公民館川中島分館							
	3325	川中島町公民館中津分館							
	3327	川中島町公民館御厨分館							
施設分類	01	企画型	施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制	
施設概要	【本館】多目的ホール(講堂) 1、和室 1、調理室(実習室) 1、会議室(大中小) 各 1、図書コーナー 1 【御厨分館】大会議室(会議室) 1、小会議室(和室) 1、料理教室 1 【川中島分館】大会議室(会議室) 1、小会議室(和室) 1、料理教室 1 【中津分館】大会議室(会議室) 1、小会議室(和室) 1、料理教室 1								
施設設置目的	公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、实际生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。								
基本方針等	地方自治法(第244条)教育基本法(第12条)の理念に基づく公の施設であることを念頭において社会教育法(第20条、第22条)に定める事業を、利用者の安全対策を図り、平等、公平な運営に努める。								
主な実施事業	・成人学校の開設 ・各種講座の実施 ・講演会 ・展示会の開催 ・図書等を備えその利用を図る ・貸館事業								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	川中島地区住民自治協議会			指定回数	2 回	
指定期間	令和2年4月1日	～	令和7年3月31日	5年	管理運営開始日	平成29年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					3

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		利用区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比	評価
		利用者数	人	34,173	34,624	35,236	17,393	49%	3
		利用率	%	33.1	30.8	33.7	23.7	70%	
		分館(3館)利用者数	人	31,562	34,454	32,053	11,481	36%	
		分館(3館)利用率	%	18.6	18.0	19.8	9.4	47%	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
(特記事項) 【令和2年度】 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、公民館(4月16日～5月15日)、分館(4月16日～5月31日)を休館とした。開館後も感染対策のため、教室の収容人員を制限したこと、高齢者等が利用を自粛したこと等により利用者が減少した。									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	・川中島町公民館の利用許可に関する業務 ・社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務 ・川中島町公民館の設備及び維持管理に関する業務 ・教育委員会が定める業務や受講料の收受に関する業務 ・川中島町公民館の利用の許可、不許可及び取り消しに関する業務 ・施設、付属品及び物品の維持管理に関する業務							
	自主事業	提案を求めている							
サービス維持・向上の取組み(広報等)		・公民館報 3回/年 発行。ホームページを立ち上げ、公民館活動の広報に努めた。 ・講座の開催等は、館内の掲示物を工夫して、視覚を通して訪問者に呼びかけを行い新規利用者の増加につなげた。							

3 利用者評価

利用者評価		区分	内容	評価
利用者評価	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	4
		(2) 調査、会議等の内容	・学級講座ごと受講者を対象に、講座終了時にアンケートを実施した。アンケートには次に希望する講座内容記載欄を設け、利用者ニーズの把握に努めた。 ・貸館利用者は、利用簿の欄に要望を記入する欄を設け、利用簿返却時等に聞き取りを実施した。	
(3) 調査、会議等の結果	実施した一般講座 8講座(10回) 講座参加者数 358人 うち アンケート回答者数 330人 満足 264人 80.0% やや満足 63人 19.1% やや不満 3人 0.9%			
利用者からの評価・苦情等	利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価	「武田徹のハーモニカトーク講座」 自粛生活を送っていた人たちにやさしいハーモニカの音色は心地よく、充実した時間を過ごすことができたこと好評であった。 「古社寺に学ぶ」 講師の手作り資料を使った地元の寺社建築の座学であった。参加者から現地で講義を受けたいとの熱い要望が多く好評であった。 「信大出前講座 万葉集」 受講者から自粛をしていたが、学ぶ場所を提供してくれたと感謝された。講師がわかりやすく説明してくれ万葉集が身近に感じられたと好評であった。	
		(2) 苦情・改善等の要望事項	・月初めの貸館抽選の方法について時間短縮してほしい。 ・御厨分館のトイレは、男女共同となっているので男女別にしてほしい。併せて洋式便座に座るとひざがドアにあたるほど狭く窮屈のため改善してほしい。	
		《対応措置》	・新型コロナウイルス感染防止対策により時間短縮を検討しているが、公平公正な貸館をするため抽選という方法をとっている。利用頻度の高い教室(多目的ホール)とそれ以外の部屋に分け、抽選を実施した。 ・御厨分館のトイレは、男女共同となっているため、小便器の前にパーティションを設置した。また過去に和式便座を洋式便座に変更したが座った時にひざがドアにあたるほど狭いため、ドアの位置を移動し、個室空間を広くした。	

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和2年度)				市の収支				評価				
	年度計画額		収支実績額		令和2年度決算		令和元年度決算(前年度)						
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額					
	収入	利用料金 2,500,000 指定管理料 20,000,000 委託料 販売収入等 その他収入	利用料金 1,122,167 指定管理料 20,000,000 委託料 販売収入等 その他収入 42	歳入	使用料 51,000 雑(納付金) 53,600 貸付料 45,900 その他	94,750 37,550 20,833	計	22,500,000		計	21,122,209	計	150,500
支出	人件費 9,687,000 設備管理費 1,425,000 備品購入費 備品購入費 500,000 修繕費 4,382,000 光熱水費 2,868,000 事業費 2,378,000 事務経費 本社経費 その他 1,260,000	人件費 9,444,021 設備管理費 1,537,477 備品購入費 408,430 修繕費 926,626 光熱水費 3,577,317 事業費 1,319,011 事務経費 2,221,441 本社経費 その他 1,031,000	歳出	指定管理料 20,000,000 委託料 需用費 役務費 使用料・賃借料 修繕費 工事請負費 備品購入費 その他	18,584,000	計	22,500,000	計	20,465,323	計	20,000,000	計	18,584,000
自主事業	収入	収入											
	支出	支出											
	自主事業損益	0	自主事業損益	0									
	損益	0	656,886	差引	-19,849,500	-18,430,867							
	人件費比率【人件費(賃金等)／令和2年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)										46.1%		
	本社経費が、計画額と実績額で異なる理由												

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」、「4」、「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか 配置実績(うち市内雇用職員数) 館長1人(1人)、主事2人(2人)、事務職員1人(1人)	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		☑
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	評価
	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び業務の調達に努めたか。		3
	1 地域の諸団体(区長会・青少年育成連絡協議会等)、小中学校、法人等と講座企画・会議・催事等を通じて連携し、企画運営を行う。 2 公民館職員は、市内在住者を基本とし、可能な限り地元からの採用に努める。 3 本館と地域公民館とで地域情報を共有して連携を深める。 4 住民自治協議会と連携協力して、地域に根ざした活動を企画実践する。		

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>--- 基準値</p>
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	6	
地域連携	3	6	
合計得点			

評価理由	<p>施設利用者は、17,393人で令和元年度35,236人と比較すると49.4%減少しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策による休館と講座等の縮小によるもので、適正に運営されていた。</p> <p>【利用者評価を4とした理由】</p> <p>御厨分館の大会議室のカーペットを張り替えた。また、同分館のトイレは、男女共同となり以前から別にして欲しいとの相談が利用者からあったが手がつけられずにいた。今年度休館等利用者が少ないことを利用し、小便器と個室を区分するパーティションを設置し、併せて個室も狭かったためドアを移動させ若干広くした。利用者が利用しやすい施設修繕を行ったことを評価した。</p>
------	--

取組み・改善案等(施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)

次年度の目標・取組み等(施設所管課)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、引き続き利用者が安心して利用できる施設を目指す。 ・ホームページや地区回覧等、さまざまな情報発信を行い、施設の魅力や講座をPRし、利用者の増加を目指す。 ・住民自治協議会や小中学校をはじめとする教育機関、地域の事業者と連携した事業の実施を目指す。
--------------------	--

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

本館・分館の貸館利用、本館の図書館利用についてのサービス向上に向けて

- ・公民館の利用者はコロナ禍で年間2万9千人弱となったが、様々なサークル団体や成人学校受講生が目的に合わせて活動している。長野市の公民館であると同時に川中島町の住民の意向を受けて公正・公平な立場で管理運営をしてきた。
- ・館内外の植木・生垣の剪定や芝刈りなど職員の努力により環境の整備を図った。
- ・本館、分館利用者の集計にはデジタル化を取り入れ集計の効率を図った。
- ・ホームページを活用して情報を提供した。コロナ禍での成人式のあり方を検討した。
- ・御厨分館の大会議室は、カーペットの破損等が著しかったため、張替えを行った。併せて、トイレに小便器と個室を区分するパーティションを設置し、個室空間を広くするために、ドアの位置を移動させた。

② 業務の効率化に対する取組み

- ・人権教育促進協議会が主催する研修会や地域公民館毎の住民の集いの在り方を検討した。
- ・デジタル化に伴い数値入力等の効率化の工夫を図った。

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

(3) 総合評価

評価基準

- 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

新型コロナウイルス感染症対策として、施設の感染対策を徹底し、講座の開設には慎重を期した。講座の受講者数も制限するなどしたため、開講した講座は8講座となった。成人学校は1学期を中止したが、講座の見直しを行ない、実施することができた。

② 次年度以降の取組み

- ・住民自治協議会、長野保健医療大学との協力体制を維持し、講座を企画する。
- ・情報発信をこまめに行い、利用者の増加を目指す。
- ・業務のデジタル化、講演、講座等のリモート化への取り組みを工夫する。